

意見交換会報告書

意見交換会の議題	大和市のスポーツについて
意見交換会の相手先 (団体名等)	大和市体育協会 大和市地区体育振興会連絡協議会 NPO法人大和スポーツクラブ NPO法人大和シルフィード・スポーツクラブ NPO法人やまとスポーツマネジメント
参加人数	17名
開催日時	平成29年11月21日(火) 午後3時00分～午後4時30分
開催場所	大和市議会 全員協議会室
担当議員	座長：古谷田力 司会者：小倉隆夫 記録者：石田裕 出席者：佐藤大地 中村一夫 山田己智恵 渡辺伸明 木村賢一
要点等	別紙のとおり

大和市議会議長様

平成30年5月1日

大和市議会意見交換会実施要領第8条の規定により提出します。

意見交換会座長 古谷田力

文教市民経済常任委員会 スポーツ関連団体 意見交換会

■参加者

<議員>

古谷田委員長(座長) 小倉副委員長(司会) 石田委員(記録) 佐藤(大)委員

中村委員 山田委員 渡辺委員 木村議長

<スポーツ団体>

大和市体育協会 会長 荻窪氏

大和市地区体育振興会連絡協議会 会長 西川氏

NPO法人大和スポーツクラブ 理事長 姉崎氏

NPO法人大和シルフィード・スポーツクラブ 理事長 加藤氏

NPO法人やまとスポーツマネジメント 理事 海藤氏

■議題:大和市のスポーツについて

木村議長挨拶

古谷田委員長挨拶

古谷田委員長

意見交換会での議員の発言は議会統一の見解ではないことに留意してほしい。

荻窪会長

貴重なお時間を頂き有難う。まずは体育協会を紹介する。24 団体、メンバー19000 人で構成。中体連、社会教育団体など市民を中心とした協会である。来年一月に第 60 回大和市駅伝大会を体育協会が主体となった実行委員会で開催する 192 チームが参加予定。

道路の使用許可を受ける際、(警察の交通)課長によっては一切だめだと引地台公園を使うよう言う時もあり、58、59 回の大会は行った。今回は理解のある課長により、距離を延長して大会を開くことができた。

スポーツセンターが混んでいる。整備が行き届いたこともある。大会で土日がほとんど埋まっている。

中央林間の旧緑野住宅跡地に来年 8 月オープン予定の施設が建築中であり、生涯学習センターか、市の機関を入れると聞いている。

古谷田委員長

以前スポーツ施設が埋まっていて使いづらいとご意見を頂いたがどうか。

荻窪会長

だいぶ緩和されてきた。

ゆとりの森にスポーツ施設が整備されたことが大きい。

たくさん要望すれば施設ができるものではない。

満足はしていないが、要望はしない。

西川会長

体育振興会は市内 10 地区に分かれている。体育祭りは 10 月中にとの指示。

今年自分のところは台風でできなかった。お子さんが少ない、20 代 30 代 40 代の参加が少ない。

これから何か考えていきたい。

北大和小学校が工事に入るので学校開放が 4 年間使えなくなる、ソフトボールチームでどこか使えるグラウンドがあれば使わせてほしい。でなければチームが解散することになる。

鶴間中学校はグラウンドに石がたくさんある。一回掃除すると山になってたまる。生徒にとって危険。市で何かできないか。お願いしたい。

中村委員

渋谷西地区の綱引きで優勝目指して盛り上がっている。

そこに参加するお父さんたちが自治会の各種委員や役員に参加してくれている。

スポーツが核になって地域を繋げている。自治連と体育振興会や防災の活動がリンクしてくると素晴らしい効果が期待できる。今後ともお願いしたい。

西川会長

大和北地区は 9 自治会あり、約 10000 人所帯。自治会から全面的に協力いただいている。

渋谷西と大和北地区は地区交流をしている。お互い行ったり来たりして新しいニュースポーツも行って交流している。

バウンドテニスというニュースポーツで、テニスのラケットが短いものを行っている。よろしくお願ひしたい。

北大和小学校のグラウンドが5年間使えないということで地域のソフトボール部が解散の危機にある。

山田委員

北大和小学校はこれから校舎を増設していく、全面的に使えないというわけではないが試合ができないのは厳しい。

相談もいただいている。地区によってはグラウンドの利用頻度に隙間がありそうなので案内した。せつかくのソフトボール部がなくならないようにしたい。

姉崎理事長

NPOを立ち上げて5年。地区の体育大会と学校の部活を上手く組み合わせたい。

私たちが学校の運動会を見に行こうと思っても、様々な申請をしなければ見られない。一方で地区と連携をしたいといっている。地区運動と学校運動の情報の共有ができない。

古谷田委員長

確かに、地区の運動会と学校の部活がぶつかってしまうことで部活が優先されてしまう状況がある。

石田委員

学校とスポーツ団体の間に立って情報共有をする事務局的存在が必要。市の職員等を配置する必要がある。

古谷田委員長

情報共有をスポーツ課や体協を通してできる。姉崎理事長からスポーツ団体の方でもっと地域と協力していくべきだという言葉があったが、学校側が情報を公表したがない旨の発言があった。この辺はいかがか。

姉崎理事長

すでにご存知かもしれないが、セキュリティーの関係で運動会を見に来る目的以外の人をコントロールできないという理由。その一方で地域と協力したいという。大和で条例をつくることもできる。

試合をするということで行えばもっとうまくできる。体育とスポーツをどう両立されるのか。体育は学校の授業で体と心を育むものだ。スポーツは競技になるので勝ち負けを競うものになりはしないか。こういった部分も含めて体育を考えていく必要があるのではないか。

加藤理事長

体育とスポーツは全く違う。ヨーロッパは体育がない。運動はスポーツクラブで行う。体育の授業はなくなっていくと思う。地域型の総合型スポーツクラブを作っていくビジョンが必要。ゆとりの森などにいろいろなスポーツができる環境の整備が必要。観客席にテーブルやイスをたくさん置いてほしい。日よけも置いてほしい。散歩に来た人が何気なくサッカーなどを観戦できる。理想を言えばレストランやカフェがあればと思う。

古谷田委員長

ゆとりの森は日陰がないのが問題で、そういったところも必要。シルフィードについて話を聞かせていただきたい。

加藤理事長

去年はプレーオフで3位になって入れ替え戦がなくなった。12月17日になでしこスタジアムで市民感謝祭を計画している。是非、参加して欲しい。またサッカーチームを主体に行っているが、一昨年からダンススクールをはじめ、結構人気がある。先生を雇用してもなんとかなっている。いま、大人向けにリラクゼーションも行っている。

海藤理事

やまとスポーツマネジメントは2年前に準備会を立ち上げ法人として12名の会員で行っている。会員制だが会員を集める媒体として双方向のメディアがあればよいと考えている。

渡辺委員

ゆとりの森には木陰がない。木陰空間があったらいいと思う。また、スポーツと商店街も相乗効果がある。

柳橋の事務所と桜ヶ丘の商店街が話し合っている。大和市全体でシルフィードを応援していくことで相乗効果を出せるようにしたい。

加藤理事長

うちのホームページには仮想商店街の準備ができている。費用の面やクーポンなど検討し、徐々に進めている。

渡辺委員

地元でももっとインパクトのある感じのできないかとヴァーチャル商店街にプラスアルファしていく形を考えている。

加藤理事長

いろいろなアイデアはあるのだが事務局 3 人では難しい。いろいろな人をお願いしている現状である。

古谷田委員長

シルフィードは、マリノスが和歌山市のホームタウンチームになったのでマリノスと連携しても面白い。ベイスターズの交流戦もイースタン戦で行っている。和歌山市の学生を呼んで行っている。

姉崎理事長

ベイスターズ球団では全員に帽子を配っている。スポーツ少年団や野球連盟などを通じて親子と一緒に試合を見てもらえるようにしている。

山田委員

姉崎理事長が地域との連携の話をしてしたが、詳しい要望をききたい。また情報の共有に関してはスポーツ課で情報を集約し、問い合わせや発信をしていくことはできるのではないかと思う。

姉崎理事長

ヨーロッパ型のスポーツ少年団を作ろうとはじめた。地域のクラブチームをつくり複数の種目を扱う形を目指したが頓挫した。今では単一種目でもよくなっている。地区の運動会の日には部活を行わないで地区の運動会に参加する形が昔はあった。

しかし今では学校に運動会の日程などを問い合わせても教えてもらえない。

地域と一緒にスポーツ少年団があったのに今はそうではない。

体育とスポーツが混同した状態もある。

山田委員

スポーツを通して地域で子どもたちを育てていくという考え方には共感できる部分が多い。中央林間一輪車クラブの会長をしていたが、地域に貢献できるクラブにしたいという思いがあった。総合型スポーツクラブには入っていないが条件が合えば入りたいと思う。

クラブはいろいろな地域にまたがっており、各学校の運動会などの日程がバラバラなので全体としてどう考えるのかという課題があると感じた。

古谷田委員長

運動会は学校単位で行うと大人が入れない。地域で行うことで大人と子どもが顔見知りになれば災害時に役に立つ。垣根を取って行いたい。

地域のクラブの小学生などに参加を呼びかけると、監督からそちらに出たら選手にしないと言われる。そういう監督をどうにかして欲しい。

中村委員

パラスポーツは、まだ普及していない。大和市版オリンピックをやる時にパラリンピックもできないかと議会で提案した。大和市は体育協会や総合型スポーツ協会の方と連携したいと答弁していたが皆さんはどう考えるか。

加藤理事長

サッカー協会と行っているが、なかなか選手が集まらない。声をかける場所が分からない。会場に来るまでにだれが面倒を見るのかわからない。その辺がクリアできれば行えると思う。

古谷田委員長

会場までの移動手段が必要であろう。

体協並びにスポーツ課は県の体育協会がオリンピックやパラリンピックの指導者育成にむけて行う動きに便乗する方法しかない。

中村委員

本市から出た選手がメダルを取ると市としても嬉しく、障害を持つ方にも生きがいになる。今後とも進めていきたい。

小倉副委員長

北部のスポーツ施設がなくなっていくなかで、どうしたらスポーツ施設を整備できるか考えている。大和で育って、今、プロで活躍している選手がいる。福岡ではスポーツタレント支援を行っていた。大和市でも多くのスター選手が生まれてほしい。そういった環境整備を進めたい。北部では田畑を持っている地主の方にもお願いしたいが、スポーツ団体の皆様はどう考えるか。

姉崎理事長

大和市は本来、ほかの地区よりも恵まれていると思う。地域で机を並べている選手同士が別のチームで争っている。もっと地域性を出していく必要がある。組織に属さないで行っている形があるが、大きく考えればそういった人たちがどのようにまとまるかだと思う。大和市は複雑なところで、地域が重なっている。大和市を北部と中部と南部で整理し統合することはできないか。

古谷田委員長

北部にスポーツ施設は必要かどうかうかがいたい。

姉崎理事長

地区の近くになればならないという意識はそれほどない。先ほど言ったように北として整理して、地域の拠点としてならば必要である。

佐藤(大)委員

学校の授業では拾いきれない教育の場が、地域スポーツにあると考える。また情報を、どのように集約し発信していくのか、手軽なツールが重要である。

加藤理事長

近くにグラウンドが欲しい。家にいてなにもしていない高齢者にとって、近くに広場がある、そこにクラブハウスがある、自由に集まって話せる、スポーツができる、そういう場が欲しい。大きくなくてもいい。雨よけができて、飲み食いができる環境がある。そういう場があることで人のよりどころができ、家に閉じこもる人がいなくなる。

古谷田委員長

ボール遊びができるように防球ネットを6か所整備した。高齢者が憩える場所の環境整備をしたい。手軽なところから行いたいと感じた。

石田委員

国が地域と学校を共同させていこうとしているが、実態は全く伴っていない現状がよく見えた。

山田委員

学校に通う児童を支えようと地域で努力をしているところもある。市内全域でどのように考えていくのが課題だと思う。

姉崎理事長

自分のところさえ良ければいいというところもある。パラスポーツをあえて線引きせず一緒にやっているところもある。

大和市でなにを行っているかという情報も大事である。

加藤理事長

要望を述べる。

- ・ゆとりの森のスポーツハウスが9時に閉まる。コート時間も9時。最後に使うチームだけがシャワーを浴びられない。ハウスの時間を少し伸ばしてほしい。
- ・体育館でフットサルをできるようにしてほしい。
- ・少年サッカー場の天然芝が剥げてきていて、怪我をする子が出てきている。人工芝にしてもいいのではないか。

古谷田委員長

全ての学校開放も9時に閉めるのが通例なので、難しい部分もある。

人工芝では、怪我があるのは知っている。一つ一つ行いたい。

これにて意見交換会を終わる。